

第4回 福慢協フォーラムのご案内

日時

2026年10月17日(土)

時間

14:00～16:30

会場

九州大学医学部 百年講堂

福岡市東区馬出3丁目1-1

定員

100名(先着順) 主催・共催団体の方は無料(それ以外の方500円/人)

第1部

一般演題発表(14:05～14:50) ※3つのセッションは同時進行で行います

【リハビリテーション】

①-1

ウェルウォークを用いた歩行練習と歩行自立度が在宅復帰に及ぼす影響

～脳卒中片麻痺患者における回復期リハビリテーション 高良台コミュニティホスピタル 坂下 一輝

①-2

回復期脳卒中片麻痺患者へのBMI訓練が上肢機能と運動イメージに及ぼす影響

高良台コミュニティホスピタル 大坪 美紗都

①-3

回復期リハビリテーションにおけるFITプログラムのADLの改善効果

高良台コミュニティホスピタル 新開 彩花

【リハビリ・栄養・排泄】

②-1

H様の排泄支援を通して学んだ意思決定支援

～本人の希望と安全確保の両立を目指して～ 新栄会病院 シティ ヌル エリサ

②-2

脳卒中患者の自宅退院に向けた排泄支援

～排尿パターンに着目したトイレ誘導から生活機能の改善へ～ 誠愛リハビリテーション病院 西津 幸雄

②-3

退院後訪問栄養食事指導料導入に向けた体制構築と実践

～透析通院患者1症例を経験して～ 新古賀リハビリテーション病院みらい 田中 月都

【看護】

③-1

臥床患者の拘縮・褥瘡予防におけるポジショニングについての意識調査報告

北九州古賀病院 畑生 順子

③-2

当院療養病棟入院患者の1年生存率からみた「次の春」を見据えた支援の意義

新古賀リハビリテーション病院みらい 松延 美佑

③-3

ACP「私のつむぎノート」を活用した頼れる身寄りがない高齢者への包括的支援

水戸病院 国武 律子

第2部

特別講演(15:00～16:30)

「優しさ伝えるケア技術 ユマニチュード 現場への導入」

一般社団法人 日本ユマニチュード学会理事
独立行政法人 国立病院機構東京医療センター
医長、院内感染対策室長、感染症内科医長

片山 充哉先生

お問い合わせ先

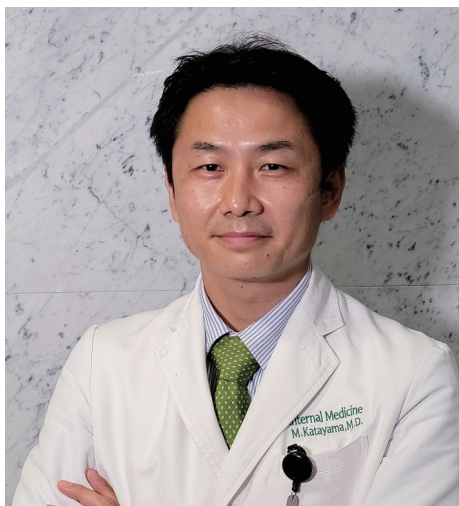
福岡県慢性期医療協会 事務局(株式会社サードエイジ内) ☎092(725)3215

主催: 一社) 福岡県慢性期医療協会

共催: 一社) 福岡県私設病院協会・一社) 福岡県医療法人協会・一社) 全日病福岡・福岡医療関連協業組合

第4回 福慢協フォーラム 特別講演

講師紹介



片山 充哉 先生

国立病院機構 東京医療センター
総合内科・感染症内科科長
感染制御室長
一般社団法人
日本ユマニチュード学会 理事

●プロフィール

片山充哉医師は、国立病院機構東京医療センターにて総合内科・感染症内科科長および感染制御室長を務めている。東京慈恵会医科大学を卒業後、亀田総合病院にて初期臨床研修、東京都立墨東病院にて救急医療の専門研修（後期臨床研修）を修了。その後渡米し、ハワイ大学およびサウスフロリダ大学にて内科・感染症科の臨床研修を終えた。亀田総合病院での臨床指導医としての勤務を経て現職に着任。東京医療センターでの診療の中でフランス発祥の包括的ケア技法「ユマニチュード」に出会い、現在は認定アカデミックインストラクターを務めている。

亀田総合病院および東京医療センターの双方で「ベストティーチャー賞」を受賞。総合内科、感染症、ユマニチュードを軸に、高齢者医療の質向上ならびに卒前・卒後の医学教育の発展に精力的に取り組んでいる。

また2025年開催の第7回日本ユマニチュード学会学術集会の大会長を務め、第8回日本ユマニチュード学会学術集会 福岡大会2026、および国境なきユマニチュード国際会議 in 福岡 2026でもシンポジスト等として登壇・発表を予定している。

第8回日本ユマニチュード学会学術集会 福岡大会2026

（日時：2026年10月17日（土） 会場：福岡国際会議場）

国境なきユマニチュード国際会議 in 福岡 2026

（日時：2026年10月18日（日）19日（月） 会場：福岡国際会議場）